

CDP 2°Cに向けて動き出す企業・投資家セミナー

ESG投資の観点と企業の気候変動対応

2017年11月29日

株式会社QUICK ESG研究所
プリンシパル 松川恵美

ESG投資の潮流 ～変化から拡がり、行動と実践へ～

2014年は「変化」の「はじまり」

QUICK のパートナーシップ



Signatory of:



2015年は「変化」が「拡がり」へ

ゴールドデータパートナー

2016年は「行動」と「実践」

ウォータースコアリング

2017年は「インパクト」を目指す活動の「活発化」

ウォータースコアリング & レポートライター
気候変動スコアリング
森林スコアリング

ESG投資が目指す課題解決

ESG投資は、サステナブルな未来を実現することにつながる



国際社会からの要請

放置できないリスク

責任の明確化、対応度、ガバナンスへの評価

解決すべき分野

成長機会、イノベーションの評価

サステナブルな未来を実現するため
に資金の流れを考慮する

ESG投資が目指す課題解決

PRIが原則で掲げるESG要因は、国際的な議論によって定義された解決されるべき世界の課題である

Sustainableな社会の実現



ESG投資の向かう先

～PRI in Person 2017の重点テーマ～

2017年は9月25－27日の3日間に渡りベルリンで開催され、世界中から約1,000人（39か国）が参加した

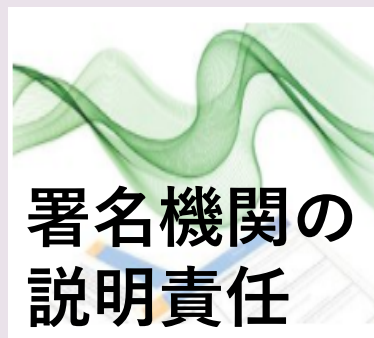
重点テーマ



気候変動



アクティブ
オーナーシップ



署名機関の
説明責任



ヒューマン
ライツ



Climate Action 100 +



パリ協定の目標達成に向けて、温室効果ガス発生量の多いグローバル大企業を対象に、共同のエンゲージメント活動をとる機関投資家のイニシアチブ。
エンゲージメント対象企業は未公表（11月13日時点）

参加投資家



参加イニシアチブ



Montreal PLEDGE

MontréalPLEDGE

気候変動課題に取り組む機関投資家のイニシアチブ。署名機関投資家は、株式ポートフォリオのカーボンフットプリントを測定し、開示する。

グローバルで140以上が署名(11月13日時点)

日本の投資家



三菱商事 UBS リアルティ

セコム企業年金基金



SOMPO ホールディングス
損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

署名投資家一覧より抜粋



CalPERS

Nordea



and more...

出所：Montreal Pledge公開資料を基にQUICK ESG研究所作成

RE 100

事業運営に必要な電力を100%再生可能エネルギーで調達することを目標に掲げる企業によるグローバルイニシアチブ。

グローバルで115社が署名（11月13日時点）

日本企業

RICOH



Johnson & Johnson
FAMILY OF COMPANIES

参加企業一覧より抜粋

GROUPE
L'OCCITANE

facebook



AstraZeneca  TATA MOTORS

Coca-Cola
EUROPEAN PARTNERS



AVIVA

Nestlé

AkzoNobel

salesforce

Walmart 



Google



BMW
GROUP



citi

PHILIPS
and more...

EV 100

電気自動車の使用や環境整備促進を目指す企業による国際ビジネスイニシアチブ。
グローバルで14社が署名（11月13日時点）

日本企業

AEON
MALL

参加企業一覧

AIR NEW ZEALAND

Baidu 百度

Deutsche Post DHL
Group

Heathrow

hp

LeasePlan
What's next?

Mercury

METRO

PG&E
Pacific Gas and
Electric Company

Royal
HaskoningDHV
Enhancing Society Together

Unilever

VATTENFALL

Mission 2020

M2020

2020年にピークを迎えるCo2排出量を削減することが、2030年のSDGsの達成には欠かせない。排出量削減のために、ファイナンスとテクノロジーのトランジション（移行）が必要である

目的

- “Climate safe world”実現のための、2020年にピークを迎えるCo2排出量の削減
- 2030年のSDGs達成
- 2050年のネット・ゼロ・エミッションの実現

組織

- 2017年4月に、パリ協定の策定を推進した前UNCC（UN climate chief）であるChristiana Figueresが立ち上げた。
- 目標達成のためのグローバルなコミュニティ
- 国際NGOとのコラボレーションを推進

参考先：<http://www.mission2020.global/>

About QUICK ESG研究所

About QUICK ESG 研究所

グローバルな責任投資に関する研究を専門とするアナリスト、コンサルタントを擁し、年金基金、運用機関、および企業のCSR/IR/経営企画部門に必要なESGデータ、分析レポート、および戦略アドバイザリーを提供する。

- 2014年4月 「QUICK EIRIS ESGサービス」の提供を開始
- 2014年10月 年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）の「年金積立金管理運用独立行政法人におけるスチュワードシップ責任及びESG投資のあり方についての調査研究業務」を受託
- 2015年2月 事業法人向けアドバイザリーサービス「QUICK ESGサービス for Corporation」を開始
- 2015年5月 「QUICK ESG研究所ポータルサイト」を開設
- 2016年2月 米議決権行使助言会社大手 グラスルイス（GLASS LEWIS）とパートナーシップ契約を締結
- 2016年7月 CDP Water のスコアリングパートナーに認定
- 2017年7月 CDP Climate Change、Water、Forestのスコアリングパートナーに認定

【国際的な活動】

PRI署名機関

CDPゴールドデータパートナー、CDP Waterスコアリングパートナー

JSIF法人会員、理事

RI（Responsible Investor）Asia 2014, 2015 共同スポンサー、2016, 2017 リードスポンサー

VigeoEIRISパートナー

Glass Lewis パートナー

Signatory of:



GLASS LEWIS

About QUICK ESG 研究所

QUICK ESG研究所 ポータルサイト <https://www.esg.quick.co.jp>

連絡先：メールアドレス：esg.mkt.ug@quick.jp

電話番号：03-6733-9156

QuickESG研究所 責任投資の最前線

ログイン 会員登録 無料メルマガ登録 お問い合わせ

ESG研究所 Why QUICK ESG サービス Services リサーチレポート Research お知らせ What's new メディア掲載情報 QUICK ESG in Media ブログ Blog

リサーチ記事検索

ジャンルから探す 業界から探す 地域から探す カテゴリーから探す

【国際】PRI、日本のESG投資や受託者責任の現状と提言をま

ESG情報開示を巡る動きが激やかだ。

続きを読む

What's New お知らせ

2017年1月13日

【お知らせ】QUICKが「グラスルイス 議決権行使管理」プラットフォームを大和証券投資信託委託に提供開始

2017年1月13日

【お知らせ】QUICK ESG研究所主催 上場企業対象セミナー「GLASS LEWIS with QUICK」～日本版スチュワードシップ・コード改訂が及ぼす議決権行使への影響～のご案内

2016年12月16日

【セミナー開催報告】QUICK ESG研究所主催

Research リサーチレポート

2017年5月12日

【永口教授のヨーロッパ通信】ロンドン証券取引所のESGレポートガイダンスが意味すること

2017年2月、世界の主要取引所の一角であ

Events イベント

2017年5月25日

CDPサプライチェーン2017・ワークショップ第一回

開催日 2017/05/23 (火)

2017年5月25日

RI Europe 2017 LONDON

開催日 2017/06/06 (火)

2017年5月24日

ワークショップ2017 第二回